

第1章 分類からの発見…………… 15

分類はなぜ必要か／数字には意味がある／分類を書架で考える／全体の位置づけを知る／全分野が広がる魅力／分類の限界

栞さんの調べもの ① 華やかな時代を身にまとう…………… 33

第2章 書架と本を活用する…………… 37

1 書架を使う——本が並んでいる魅力…………… 37

歩いてめくって／イメージしながら探す／自分なりに調べよう／概要を知っておく／ルートを考える／調べながら増える知識／セレンディピティ

2 本を知る——一冊に詰まっている情報…………… 58

本はパッケージ／一冊の本を知る／一冊の広さと狭さ／現物を見ていく意味

栞さんの調べもの ② 隠し味は何を隠す…………… 67

第3章 検索の世界…………… 72

1 図書館員の検索法…………… 72

蔵書検索の基本／蔵書検索のキーワード／目的にあつた蔵書検索／インターネットでの検索／キーワードの取捨選択／電子化された資料／〈参考〉私が日常の仕事でよく使っているデータベース

2 電子の情報とめくる行為…………… 92

モニターは狭い／クリックという行為／司馬遼太郎記念館／情報は誰かが書いている

栞さんの調べもの ③ 柿くへば、腹が鳴るなり…………… 102

第4章 情報のひねり出し方……………106

使えるものは何でも使おう／観点を追加する／人からひねり出す／土地からひねり出す／どこが発信しているか／いつ必要とされた情報か／誰が必要とする情報か／児童書は使える／見つからない原因は／いろいろなことを疑う／知識を増やしてレベルアップ

葉さんの調べもの④ 変わらない値段と変わる店……………137

第5章 図書館でできること、自分だけができること……………142

その図書館を知る／図書館に本が並ぶまで／小さな図書館のメリット／もっと調べたいとき／専門機関も活用する／専門機関の紹介／資料を取り寄せる／図書館員という機能／自分で調べること／オリジナリティの大切さ／図書館の枠

をこえて

葉さんの調べもの⑤ 北太平洋海底に古代の天皇……………168

あきがき……………174